

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム愛
日付	平成16年11月9日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院（老人病棟）での看護業務歴 18年 居宅介護支援事業所での痴呆性高齢者介護歴 4年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

#### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>経営者は、入居者のペースに合わせた、ゆっくりとした見守りのケアを目指しています。</li> <li>入居者は、周囲を田園等自然に囲まれた静かな環境の中で、職員の温かい介護を受けながら、日々の生活を送っています。建物内では、自動車等、外部の騒音はほとんど聞こえることなく、共有部分は広くゆったりとしたスペースを有し、開放感があります。200坪の広い庭園は、季節ごとの野菜が植えられ、食卓に彩を添えています。</li> <li>パソコンを利用した入居者家族への情報提供やメールでのやりとり、スクリーンを使用したビデオ鑑賞の設備等、他の施設ではあまりみられないような工夫も見られました。</li> <li>入居者の家族が、3人も職員として勤務している事も、このホームの特徴といえます。面会によく訪れる家族に声をかけ、職員として採用しているそうです。</li> <li>ホームは2ユニットを有していますが、入居者の状況に応じてグループ分けができています。トラブルの発生をできるだけ少なくするという意味でもよいと思われました。</li> <li>地域の中で、より良い関係が築けるよう、町内会等に積極的にアプローチを行っていることは評価できます。現状では町内会への加入等、まだ成果が現れていませんが、継続した働きかけを続けていきたいと思います。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> <li>ベッドが鉄製であり、柔らかさにかけて、施設的な感じを受けました。開設当初、入居者の持込を想定していたが、急遽ホーム側で準備したため、今後少しずつ交換していくとのことでした。</li> <li>ケアプランに個性が不足しているように思います。個々に応じたプランを立て、日々の記録は目標を達成するための働きかけや、入居者の反応を記載するようにしたほうが良いのではないのでしょうか。</li> <li>毎食後の口腔ケアへの取り組みが不足しているように思いました。</li> <li>入居者の呼称について、<input type="text"/>ちゃんと呼ぶことが多く見受けられ、親密な関係作りができていたとしても、さん付けで呼ぶことが望ましいのではないのでしょうか。</li> <li>玄関は事故防止のため日中も施錠しており、見守り等で対応できるよう、本当の意味での拘束のないホーム作りが必要ではないのでしょうか。</li> <li>グループホームのサービスの質を担保するものは、資格であると考えます。資格の無い職員の方が、資格を取得できるようなシステムや研修の機会を設けられてはいかがでしょうか。</li> </ul>

#### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「将来自分がグループホームに入るとしたら」という気持ちで、安心して入れるグループホーム、拘束のないグループホームをめざしています。</li> <li>職員は、入居者に対して愛情を持って接しており、ご本人が希望すれば、できればホームで看取ってあげたいという気持ちをもっています。</li> </ul>		

#### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者一人ひとりのペースに合わせて、自由に生活していただくことを目標にしています。</li> <li>生活が単調にならないよう、季節ごとの行事を考え、変化を取り入れる工夫をしています。</li> </ul>		

#### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

#### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>入居前の経験がホームでの生活の中でも生かされるよう、特技やできることは自主的にしていただくようにしています。全体の免許を持つ方もあり、マッサージは他の入居者にも喜ばれています。</p>		

#### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<p>ハットしたことをノートに記載し、他の職員にも注意を促していました。読んだら、サインをするようにし、意識の徹底をしています。</p>		